



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL <https://housefoods-group.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 仲川 宜秀 (TEL) 03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	72,341	1.5	4,638	7.6	5,002	7.3	2,488	△8.4
2019年3月期第1四半期	71,305	1.3	4,310	12.9	4,660	17.8	2,715	20.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,834百万円(△41.4%) 2019年3月期第1四半期 3,129百万円(△20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第1四半期	円 銭 24.69	円 銭 —
2019年3月期第1四半期	26.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	365,827	277,750	67.3	2,442.18
2019年3月期	371,025	279,144	66.6	2,454.34

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 246,049百万円 2019年3月期 247,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	299,000	0.8	18,500	5.4	19,600	2.6	10,900	△20.8	108.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	100,750,620株	2019年3月期	100,750,620株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	650株	2019年3月期	337株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	100,750,058株	2019年3月期1Q	102,751,618株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12
3. 補足情報	13
(1) 業績の情報	13
(2) グループ会社数	13
(3) 連結損益計算書の状況	14
(4) 連結貸借対照表の状況	17
(5) 設備投資の状況	18
(6) 減価償却費の状況	18
(7) 主要経営指標等	18
(8) 参考情報	19

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2018年4月からスタートした第六次中期計画において、“「食で健康」クオリティ企業への変革”をハウス食品グループのめざす姿と位置づけ、2年目である当期も企業市民として果たすべき「3つの責任」（お客様に対して、社員とその家族に対して、社会に対して）の全てにおいて、クオリティ企業への変革に向けた取組を推進しております。

・「3つの責任」重点取組テーマ

お客様に対して	国内成熟市場におけるイノベーションの創出と海外成長市場における事業展開の加速 (バリューチェーン革新、R&D変革、海外事業の成長拡大と事業基盤の強化)
社員とその家族に対して	ダイバーシティの実現と生産性の向上 (働き方変革の実行、多彩な人材の獲得と活躍できる場づくり)
社会に対して	当社グループが考えるCSR(Creating Smiles & Relationships)活動を通じた循環型モデルの構築と健康長寿社会の実現

当第1四半期連結累計期間の売上高は、健康食品事業が前年を下回ったほか、その他食品関連事業において受注・構内荷受を除く物流事業をF-LINE(株)へ会社分割した影響がありましたが、香辛・調味加工食品事業、海外食品事業、外食事業が伸長したことで、723億41百万円、前年同期比1.5%の増収となりました。

営業利益は、健康食品事業の苦戦や物流事業のF-LINE(株)への会社分割による影響があったものの、香辛・調味加工食品事業や海外食品事業の増収効果に加え、外食事業において(株)老番屋の価格改定効果が寄与したことで、46億38百万円、前年同期比7.6%の増益となりました。経常利益は、持分法による投資利益の増加等により営業外収益が増加したことで50億2百万円、前年同期比7.3%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分変動損失の増加等により特別損失が増加したことから、24億88百万円、前年同期比8.4%の減益となりました。

なお、当社は2019年5月に(株)やまみと資本業務提携契約を締結いたしました。両社が所有する技術ノウハウを活用し、豆腐周辺領域において新たな事業創造と価値提案をめざしてまいります。

セグメント別の業績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
香辛・調味加工食品事業	33,405	101.4	2,884	108.5
健康食品事業	7,520	92.3	144	21.7
海外食品事業	7,390	122.5	1,310	136.3
外食事業	13,186	103.5	303	—
その他食品関連事業	12,678	82.5	410	67.7
小計	74,179	98.6	5,050	106.8
調整(消去)	△1,838	—	△413	—
合計	72,341	101.5	4,638	107.6

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

ハウス食品(株)のカレー製品群は、ルウカレーが前年並みの実績を確保するなか、レトルトカレーにおいて中価格帯製品の育成が着実に進み、全体では底堅い推移となりました。その他製品群では、ねりスパイスが伸長したスパイス、「辛さ」という新たな価値を提案したルウハヤシ、スナックが前年を上回りました。

また、当事業セグメントに属する(株)ギャバンも底堅く推移いたしました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は334億5百万円、前年同期比1.4%の増収、営業利益は28億84百万円、前年同期比8.5%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は8.6%となり、前年同期より0.6pt向上いたしました。

<健康食品事業>

機能性スパイス事業は、スパイスの効果を活かした日々の健康サポートへ提供領域を拡大するべく機能性表示食品の育成に注力しており、「ネルノダ」の市場導入が進みました。一方、主力ブランドの「ウコンの力」は飲酒環境の変化や競合要因の影響を受け、引き続き苦戦を強いられております。

ビタミン事業は、既存ブランドのコストコントロールを徹底したほか、天候要因もあり、売上は低調に推移しました。

乳酸菌事業は、前期から引き続き、健康戦略素材と位置づける「乳酸菌L-137」の事業化に取り組んでおります。

以上の結果、健康食品事業の売上高は75億20百万円、前年同期比7.7%の減収となりました。営業利益は、減収要因に加え、機能性スパイス事業や乳酸菌事業を中心にブランド育成に向けた広告宣伝費を投下したこと等により、1億44百万円、前年同期比78.3%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は1.9%となり、前年同期より6.2pt減少いたしました。

<海外食品事業>

米国豆腐事業は、健康志向の高まりを背景に米系マーケットを中心とした強い需要が続き増収増益となりましたが、生産能力が逼迫するなかで出荷をコントロールせざるを得ず、我慢の経営が続いております。

中国カレー事業は、お客様の消費行動が急速に変化する環境下において、業務用の取扱いが拡大し増収となりましたが、浙江工場が前年9月に稼働したことに伴うコスト増から減益となりました。

タイにおける機能性飲料事業は、旺盛な需要から「C-vitt」の成長が続いており、増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は73億90百万円、前年同期比22.5%の増収、営業利益は13億10百万円、前年同期比36.3%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は17.7%となり、前年同期より1.8pt向上いたしました。

<外食事業>

㈱壺番屋は、2019年3月に行った価格改定効果や海外子会社が堅調に推移したこと等から増収増益となりました。国内店舗における直営店とフランチャイズ店を合算した売上状況は、全店ベースで前期比1.9%増、既存店ベースで同1.5%増と堅調に推移しております。なお、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は、国内1,302店舗（前期末比△3店）、海外179店舗（前期末比+7店）となりました。

以上の結果、㈱壺番屋とその他外食子会社を含めた外食事業の売上高は131億86百万円、前年同期比3.5%の増収となりました。営業利益は、㈱壺番屋を連結対象子会社とした際に発生したのれんや無形固定資産の償却負担があるものの、価格改定効果や海外子会社の収益伸長により3億3百万円となり、前年同期からは4億63百万円の増益となりました。結果、売上高営業利益率は2.3%となり、前年同期より3.6pt向上いたしました。

<その他食品関連事業>

コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む㈱デリカシェフは、中食需要が拡大を続けるなかで開発力強化と生産性改善に注力しております。

農産物・食品等の輸出入および販売を営む㈱ヴォークス・トレーディングは、基幹事業の収益力強化および高付加価値製品の拡販に取り組んでおります。

なお、当事業セグメントに属するハウス物流サービス㈱は、2019年4月より同社の受注・構内荷受を除く物流事業をF-LINE㈱へ会社分割しております。F-LINE㈱は当社の持分法適用関連会社であり、当事業セグメントの業績には反映されておられません。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は126億78百万円、前年同期比17.5%の減収、営業利益は4億10百万円、前年同期比32.3%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は3.2%となり、前年同期より0.7pt減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,658億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて51億98百万円の減少となりました。

流動資産は、有価証券が増加した一方で、現金及び預金、商品及び製品、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、39億31百万円減少の1,408億24百万円となりました。固定資産は、建設仮勘定や投資有価証券が増加した一方で、リース資産やのれんが減少したことなどから、12億66百万円減少の2,250億3百万円となりました。

負債は、880億77百万円となり、前連結会計年度末に比べて38億3百万円の減少となりました。

流動負債は、電子記録債務が増加した一方で、未払法人税等や未払金が減少したことなどから、14億76百万円減少の538億32百万円となりました。固定負債は、リース債務や繰延税金負債が減少したことなどから、23億28百万円減少の342億45百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加した一方で、保有する投資有価証券の時価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて13億94百万円減少の2,777億50百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は67.3%（前連結会計年度末は66.6%）、1株当たり純資産は2,442円18銭（前連結会計年度末は2,454円34銭）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績につきましては、2019年5月13日発表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,484	56,632
受取手形及び売掛金	48,601	47,937
有価証券	7,082	8,510
商品及び製品	13,645	12,741
仕掛品	1,935	1,915
原材料及び貯蔵品	4,706	4,905
その他	6,315	8,197
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	144,755	140,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,528	30,727
機械装置及び運搬具(純額)	14,598	14,079
土地	32,212	31,861
リース資産(純額)	3,278	1,513
建設仮勘定	2,111	4,518
その他(純額)	2,216	2,218
有形固定資産合計	85,943	84,915
無形固定資産		
のれん	5,980	5,125
商標権	24,660	24,501
ソフトウェア	1,474	1,454
契約関連無形資産	25,854	25,612
ソフトウェア仮勘定	310	465
その他	960	960
無形固定資産合計	59,238	58,118
投資その他の資産		
投資有価証券	66,472	67,606
長期貸付金	329	2
繰延税金資産	1,609	1,809
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	4,823	5,079
破産更生債権等	788	788
その他	7,038	6,656
貸倒引当金	△971	△971
投資その他の資産合計	81,088	81,970
固定資産合計	226,269	225,003
資産合計	371,025	365,827

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,178	21,078
電子記録債務	1,562	2,325
短期借入金	3,749	3,665
1年内償還予定の社債	26	26
リース債務	584	423
未払金	16,657	16,006
未払法人税等	3,504	2,057
賞与引当金	431	243
役員賞与引当金	98	22
株主優待引当金	90	72
資産除去債務	1	1
その他	7,427	7,914
流動負債合計	55,308	53,832
固定負債		
社債	26	13
長期借入金	392	369
リース債務	2,770	1,175
長期末払金	219	208
繰延税金負債	24,234	23,641
債務保証損失引当金	2	—
退職給付に係る負債	1,814	1,812
資産除去債務	845	731
長期預り保証金	5,777	5,797
その他	495	500
固定負債合計	36,573	34,245
負債合計	91,881	88,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,107	22,829
利益剰余金	188,920	189,192
自己株式	△1	△3
株主資本合計	221,975	221,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,327	20,051
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	756	926
退職給付に係る調整累計額	3,213	3,104
その他の包括利益累計額合計	25,300	24,083
非支配株主持分	31,869	31,700
純資産合計	279,144	277,750
負債純資産合計	371,025	365,827

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	71,305	72,341
売上原価	39,825	40,037
売上総利益	31,480	32,305
販売費及び一般管理費	27,170	27,667
営業利益	4,310	4,638
営業外収益		
受取利息	73	77
受取配当金	60	62
持分法による投資利益	7	402
受取家賃	191	188
為替差益	113	—
その他	110	131
営業外収益合計	554	861
営業外費用		
支払利息	19	17
賃貸費用	151	154
為替差損	—	270
その他	34	55
営業外費用合計	204	496
経常利益	4,660	5,002
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	0	—
受取補償金	37	—
店舗売却益	59	4
その他	1	0
特別利益合計	99	8
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	25	113
投資有価証券評価損	2	—
減損損失	2	0
持分変動損失	—	212
その他	4	7
特別損失合計	33	332
税金等調整前四半期純利益	4,726	4,678
法人税等	1,636	1,584
四半期純利益	3,090	3,094
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,715	2,488
非支配株主に帰属する四半期純利益	375	606

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,109	△1,347
繰延ヘッジ損益	△52	△1
為替換算調整勘定	△996	182
退職給付に係る調整額	△19	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	11
その他の包括利益合計	39	△1,260
四半期包括利益	3,129	1,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,815	1,271
非支配株主に係る四半期包括利益	314	563

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」および「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	31,840	8,069	6,009	12,740	12,637	71,295	—	71,295	11	71,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,093	79	23	4	2,734	3,934	—	3,934	△3,934	—
計	32,932	8,149	6,033	12,744	15,371	75,229	—	75,229	△3,923	71,305
セグメント利益又は 損失(△)	2,657	663	961	△160	605	4,727	—	4,727	△416	4,310

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△416百万円、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、2百万円計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	32,380	7,449	7,374	13,176	11,956	72,336	—	72,336	6	72,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,025	71	16	10	721	1,843	—	1,843	△1,843	—
計	33,405	7,520	7,390	13,186	12,678	74,179	—	74,179	△1,838	72,341
セグメント利益又は 損失(△)	2,884	144	1,310	303	410	5,050	—	5,050	△413	4,638

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△413百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、0百万円計上しております。

(企業結合等関係)

(事業分離)

(1) 事業分離の概要

① 分離先企業の名称

味の素物流(株)

② 分離した事業の内容

貨物運送業その他

③ 事業分離を行った主な理由

食品物流の諸課題に対応し、効率的で安定的な物流体制の実現を目的として、味の素物流(株) (2019年4月1日にF-L I N E(株)に商号を変更「以下、現F-L I N E(株)」) を存続会社とし、カゴメ物流サービス(株)、F-L I N E(株)、九州F-L I N E(株)の全事業を統合した会社に、ハウス物流サービス(株)の事業(一部を除く)を会社分割することにいたしました。

④ 事業分離日

2019年4月1日

⑤ 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

ハウス物流サービス(株)を分割会社とし、味の素物流(株) (現F-L I N E(株)) を承継会社とする吸収分割

(2) 実施した会計処理の概要

① 持分法による投資利益 407百万円

持分変動損失 212百万円

(注) 1. 負ののれん相当額を持分法による投資利益として計上しております。

② 受取対価の種類

味の素物流(株) (現F-L I N E(株)) の普通株式

③ 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	2,761百万円
固定資産	4,544百万円
資産合計	<u>7,305百万円</u>
流動負債	269百万円
固定負債	2,249百万円
負債合計	<u>2,519百万円</u>

④ 会計処理

「事業分離等に関する会計基準」 (企業会計基準第7号平成25年9月13日) および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」 (企業会計基準適用指針第10号平成31年1月16日) に基づき、会計処理を行っております。

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメント

その他食品関連事業

(4) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額期首に会社分割を行っているため、計上されておりません。

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	19.3期 第1四半期		20.3期 第1四半期		19.3期 通期		20.3期 通期目標	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	71,305	101.3%	72,341	101.5%	296,695	101.6%	299,000	100.8%
営業利益	4,310	112.9%	4,638	107.6%	17,559	107.8%	18,500	105.4%
経常利益	4,660	117.8%	5,002	107.3%	19,100	111.0%	19,600	102.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,715	120.0%	2,488	91.6%	13,767	147.2%	10,900	79.2%
包括利益	3,129	79.9%	1,834	58.6%	9,754	45.3%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	32,932	101.1%	33,405	101.4%	141,225	100.9%	146,200	103.5%
健康食品事業	8,149	95.0%	7,520	92.3%	30,899	97.8%	31,000	100.3%
海外食品事業	6,033	111.3%	7,390	122.5%	26,317	115.1%	29,600	112.5%
外食事業	12,744	98.6%	13,186	103.5%	52,083	100.2%	53,100	102.0%
その他食品関連事業	15,371	105.1%	12,678	82.5%	61,882	101.4%	46,400	75.0%
調整額	△ 3,923	—	△ 1,838	—	△ 15,710	—	△ 7,300	—

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	2,657	128.0%	2,884	108.5%	12,669	104.9%	13,300	105.0%
健康食品事業	663	103.2%	144	21.7%	1,421	156.6%	1,600	112.6%
海外食品事業	961	117.6%	1,310	136.3%	3,584	125.9%	3,600	100.4%
外食事業	△ 160	—	303	—	△ 561	—	△ 400	—
その他食品関連事業	605	128.0%	410	67.7%	2,045	109.6%	1,800	88.0%
調整額	△ 416	—	△ 413	—	△ 1,599	—	△ 1,400	—

(2) グループ会社数

	19.3期 第1四半期	20.3期 第1四半期	19.3期 通期
連結子会社数	37社	36社	36社
国内	14社	14社	14社
海外	23社	22社	22社
持分法適用関連会社	4社	4社	4社
国内	2社	2社	2社
海外	2社	2社	2社

《20.3期第1四半期主要子会社実績》

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		四半期純利益	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
ハウス食品(株)	31,051	101.8%	2,659	106.6%	1,988	105.7%
ハウスウェルネスフーズ(株)	7,520	92.3%	143	21.6%	95	18.8%
ハウスフーズアメリカ社(連結)	3,674	106.5%	514	118.2%	375	118.2%
㈱壺番屋(連結)	12,757	103.9%	1,539	140.7%	1,067	127.4%

※連結対象期間 ハウスフーズアメリカ社：2019年1月～3月 (㈱壺番屋：2019年3月～5月)

《期中平均為替レート》

	単位	19.3期 第1四半期	20.3期 第1四半期	20.3期 通期目標
米	国 U S D	107.47	110.27	110.00

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	19.3期 第1四半期		20.3期 第1四半期		対前期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	71,305	100.0%	72,341	100.0%	1,036	1.5%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	32,932	46.1%	33,405	46.2%	472	1.4%
健康食品事業	8,149	11.4%	7,520	10.4%	△ 629	△ 7.7%
海外食品事業	6,033	8.5%	7,390	10.2%	1,357	22.5%
外食事業	12,744	17.9%	13,186	18.2%	442	3.5%
その他食品関連事業	15,371	21.6%	12,678	17.5%	△ 2,693	△ 17.5%
調整額	△ 3,923	△ 5.5%	△ 1,838	△ 2.5%	2,086	—
売上原価	39,825	55.9%	40,037	55.3%	211	0.5%
販売費・一般管理費	27,170	38.1%	27,667	38.2%	497	1.8%
広告宣伝費	2,209	3.1%	2,179	3.0%	△ 30	△ 1.4%
運送費及び保管費	2,519	3.5%	2,828	3.9%	309	12.3%
販売手数料	397	0.6%	403	0.6%	6	1.4%
販売促進費	7,402	10.4%	7,480	10.3%	78	1.0%
人件費	7,341	10.3%	7,253	10.0%	△ 88	△ 1.2%
研究開発費	984	1.4%	1,079	1.5%	95	9.7%
のれん償却額	855	1.2%	854	1.2%	△ 1	△ 0.1%
その他	5,462	7.7%	5,590	7.7%	128	2.3%
営業利益	4,310	6.0%	4,638	6.4%	327	7.6%
営業外収益	554	0.8%	861	1.2%	306	55.3%
営業外費用	204	0.3%	496	0.7%	292	142.9%
経常利益	4,660	6.5%	5,002	6.9%	342	7.3%
特別利益	99	0.1%	8	0.0%	△ 91	△ 92.1%
特別損失	33	0.0%	332	0.5%	299	895.7%
税金等調整前四半期純利益	4,726	6.6%	4,678	6.5%	△ 48	△ 1.0%
法人税等	1,636	2.3%	1,584	2.2%	△ 51	△ 3.1%
四半期純利益	3,090	4.3%	3,094	4.3%	4	0.1%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,715	3.8%	2,488	3.4%	△ 227	△ 8.4%
非支配株主に帰属する四半期純利益	375	0.5%	606	0.8%	231	61.6%
四半期包括利益	3,129	4.4%	1,834	2.5%	△ 1,296	△ 41.4%

② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

売上総利益の増加	824
運送費及び保管費の増加	△ 309
研究開発費の増加	△ 95
マーケティングコスト（広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計）の増加	△ 53
その他費用の増加	△ 40

③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	19.3期 第1四半期	20.3期 第1四半期	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	73	77	4
受取配当金	60	62	3
持分法による投資利益	7	402	395
為替差益	113	—	△ 113
受取家賃	191	188	△ 3
その他	110	131	21
営業外収益計	554	861	306
支払利息	19	17	△ 2
為替差損	—	270	270
賃貸費用	151	154	3
その他	34	55	21
営業外費用計	204	496	292

④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	19.3期 第1四半期	20.3期 第1四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	3	3	1
投資有価証券売却益	0	—	△ 0
店舗売却益	59	4	△ 55
その他	37	0	△ 37
特別利益計	99	8	△ 91
固定資産除却損	25	113	88
固定資産売却損	0	0	△ 0
投資有価証券評価損	2	—	△ 2
減損損失	2	0	△ 2
持分変動損失	—	212	212
その他	4	7	4
特別損失計	33	332	299

⑤ 四半期の状況

《連結》

(単位：百万円)

	19.3期					20.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	71,305	74,461	79,853	71,077	296,695	72,341				
営業利益	4,310	4,261	7,193	1,795	17,559	4,638				
経常利益	4,660	4,762	7,440	2,237	19,100	5,002				
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,715	2,850	4,689	3,513	13,767	2,488				
包括利益	3,129	4,437	560	1,627	9,754	1,834				

《事業セグメント別売上高》

売上高	19.3期					20.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	32,932	34,976	39,552	33,764	141,225	33,405				
健康食品事業	8,149	8,817	8,303	5,630	30,899	7,520				
海外食品事業	6,033	6,200	7,105	6,979	26,317	7,390				
外食事業	12,744	12,995	13,092	13,252	52,083	13,186				
その他食品関連事業	15,371	15,387	15,897	15,229	61,882	12,678				
調整額	△ 3,923	△ 3,914	△ 4,096	△ 3,777	△ 15,710	△ 1,838				

《事業セグメント別営業利益》

営業利益	19.3期					20.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	2,657	2,882	5,111	2,019	12,669	2,884				
ROS	8.1%	8.2%	12.9%	6.0%	9.0%	8.6%				
健康食品事業	663	441	806	△ 488	1,421	144				
ROS	8.1%	5.0%	9.7%	-8.7%	4.6%	1.9%				
海外食品事業	961	707	1,063	853	3,584	1,310				
ROS	15.9%	11.4%	15.0%	12.2%	13.6%	17.7%				
外食事業	△ 160	18	△ 230	△ 189	△ 561	303				
ROS	-1.3%	0.1%	-1.8%	-1.4%	-1.1%	2.3%				
その他食品関連事業	605	585	645	210	2,045	410				
ROS	3.9%	3.8%	4.1%	1.4%	3.3%	3.2%				
調整額	△ 416	△ 371	△ 202	△ 609	△ 1,599	△ 413				

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	19.3期末		20.3期 第1四半期末		対前期末 増減	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
流動資産	144,755	39.0%	140,824	38.5%	△ 3,931	現金及び預金の減少 △ 5,852 商品及び製品の減少 △ 903 受取手形及び売掛金の減少 △ 664 有価証券の増加 1,428
固定資産	226,269	61.0%	225,003	61.5%	△ 1,266	リース資産の減少 △ 1,766 のれんの減少 △ 854 建物及び構築物の減少 △ 801 建設仮勘定の増加 2,408 投資有価証券の増加 1,134
資産合計	371,025	100.0%	365,827	100.0%	△ 5,198	
流動負債	55,308	14.9%	53,832	14.7%	△ 1,476	未払法人税等の減少 △ 1,446 未払金の減少 △ 651 電子記録債務の増加 763
固定負債	36,573	9.9%	34,245	9.4%	△ 2,328	リース債務の減少 △ 1,595 繰延税金負債の減少 △ 593
負債合計	91,881	24.8%	88,077	24.1%	△ 3,803	
株主資本合計	221,975	59.8%	221,966	60.6%	△ 9	資本剰余金の減少 △ 279 利益剰余金の増加 271
その他の包括利益 累計額合計	25,300	6.8%	24,083	6.6%	△ 1,217	その他有価証券評価差額金の減少 △ 1,276
非支配株主持分	31,869	8.6%	31,700	8.7%	△ 168	
純資産合計	279,144	75.2%	277,750	75.9%	△ 1,394	
負債純資産合計	371,025	100.0%	365,827	100.0%	△ 5,198	

(5) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	19.3期 第1四半期	20.3期 第1四半期	20.3期 通期見込
設備投資	2,318	3,863	20,200
リース	41	774	800
合計	2,359	4,637	21,000

(6) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	19.3期 第1四半期	20.3期 第1四半期	20.3期 通期見込
減価償却費	2,199	2,279	10,400
支払リース料	90	92	400
合計	2,289	2,371	10,800

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	19.3期	20.3期 第1四半期	20.3期 通期目標
一株当たり四半期(当期)純利益	134.32円	24.69円	108.19円
一株当たり純資産	2,454.34円	2,442.18円	—
総資本回転率	0.79回	—	—
売上高営業利益率	5.9%	6.4%	6.2%
売上高経常利益率	6.4%	6.9%	6.6%
総資産経常利益率	5.1%	—	—
自己資本当期純利益率	5.5%	—	—
自己資本比率	66.6%	67.3%	—
一株当たり配当金	44.00円	—	46.00円
配当性向	32.8%	—	42.5%
利益配分の基本方針に基づく配当性向	26.2%	—	32.4%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従業員数	6,066人	6,265人	—
------	--------	--------	---

◎休職者・パートを含みません。

(8) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
ルウカレー	499	485	519	503	474	450
ルウシチュー	188	181	187	180	181	170
ルウハヤシ	62	61	65	63	61	60
レトルトカレー	512	508	516	539	559	581
スパイストータル	669	674	691	703	715	738

② ルウカレー市場動向 (S R I)

2020.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全体	平均売価	189 円						
	前年差	△ 1 円						
ハウス食品	平均売価	190 円						
	前年差	△ 1 円						
	金額シェア	61.8 %						

出典: (株)インテージ S R I 月次データ (2019.4 - 2019.6)

③ 主要カテゴリー別売上高前年比 (出荷金額ベース) の状況

2020.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業								
ルウカレー計		99.8 %						
レトルトカレー計		103.2 %						
ルウシチュー計		99.9 %						
ルウハヤシ計		105.7 %						
スパイス計		102.2 %						
健康食品事業								
ウコンの力		86.0 %						
C1000		81.4 %						
1日分のビタミン		82.3 %						